

微生物学

A 欧文

A-a

- 1 Homma T, Ishibashi D, Nakagaki T, Satoh K, Sano K, Atarashi R, Nishida N: Increased expression of p62/SQSTM1 in prion diseases and its association with pathogenic prion protein. *Sci Rep* (<http://www.nature.com/srep/index.html>) No.4:4504, 2014(IF 5.078)○
- 2 Qina T, Sanjo N, Hizume M, Higuma M, Tomita M, Atarashi R, Satoh K, Nozaki I, Hamaguchi T, Nakamura Y, Kobayashi A, Kitamoto T, Murayama S, Murai H, Yamada M, Mizusawa H: Clinical features of genetic Creutzfeldt-Jakob disease with V180I mutation in the prion protein gene. *BMJ Open* (<http://bmjopen.bmj.com/>) No.5:e004968, 2014(IF 2.063)
- 3 Nakamura T, Satoh K, Fukuda T, Kinoshita I, Nishiura Y, Nagasato K, Yamauchi A, Kataoka Y, Nakamura T, Sasaki H, Kumagai K, Niwa M, Noguchi M, Nakamura H, Nishida N, Kawakami A: Pentosan polysulfate treatment ameliorates motor function with increased serum soluble vascular cell adhesion molecule-1 in HTLV-1-associated neurologic disease. *J Neurovirol* 20(3): 269-277, 2014(IF 3.323)
- 4 Akasaka K, Maeno A, Murayama T, Tachibana H, Fujita Y, Yamanaka H, Nishida N, Atarashi R: Pressure-assisted dissociation and degradation of "proteinase K-resistant" fibrils prepared by seeding with scrapie-infected hamster prion protein. *Prion* 8(4): 314-318, 2014(IF 1.967)
- 5 Homma T, Ishibashi D, Nakagaki T, Fuse T, Sano K, Satoh K, Atarashi R, Nishida N: Persistent prion infection disturbs the function of Oct-1, resulting in the down-regulation of murine interferon regulatory factor-3. *Sci Rep* (<http://www.nature.com/srep/index.html>) No.4:6006, 2014(IF 5.078)◇
- 6 Sano K, Atarashi R, Ishibashi D, Nakagaki T, Satoh K, Nishida N: Conformational properties of prion strains can be transmitted to recombinant prion protein fibrils in real-time quaking-induced conversion. *J Virol* 88(20): 11791-11801, 2014(IF 4.648)

B 邦文

B-b

- 1 佐藤克也, 新 竜一郎, 西田教行: プリオン病の新しい診断法. *Dementia Japan* 28(2): 189-196, 2014

B-d

- 1 西田教行, 佐藤克也, 新 竜一郎: 異常型プリオンタンパク試験管内増幅法 (RT-QUIC) とバイオマーカーを用いたヒトプリオン病の髄液診断法の確立. 厚生労働科学研究費補助金 (難治性疾患克服研究事業) プリオン病及び遅発性ウイルス感染症に関する調査研究 平成 23~25 年度 総合研究報告書, pp.126-129, 2014
- 2 水澤英洋, その他多数 (佐藤克也): 1999 年から 2013 年までのプリオン病サーベイランスの結果. 厚生労働科学研究費補助金 (難治性疾患克服研究事業) 厚生労働科学研究費補助金 (難治性疾患克服研究事業) プリオン病及び遅発性ウイルス感染症に関する調査研究 平成 23~25 年度 総合研究報告書, pp.72-80, 2014
- 3 松田治男, 堀内浩幸, 佐藤克也, 西田教行: プリオン病診断における H-FABP 検出の有用性について. 厚生労働科学研究費補助金 (難治性疾患克服研究事業) プリオン病及び遅発性ウイルス感染症に関する調査研究 平成 23~25 年度 総合研究報告書, pp.122-125, 2014
- 4 西田教行, 佐藤克也, 新 竜一郎: 異常型プリオンタンパク試験管内増幅法 (RT-QUIC) とバイオマーカーを用いたヒトプリオン病の髄液診断法の確立. 厚生労働科学研究費補助金 (難治性疾患克服研究事業) プリオン病及び遅発性ウイルス感染症に関する調査研究 平成 25 年度総括・分担研究報告書, pp.49-51, 2014
- 5 堀内浩幸, 佐藤克也, 西田教行: 認知症患者の血清 H-FABP の有用性について. 厚生労働科学研究費補助金 (難治性疾患克服研究事業) プリオン病及び遅発性ウイルス感染症に関する調査研究 平成 25 年度総括・分担研究報告書, pp.54-57, 2014
- 6 山田正仁, 水澤英洋, その他多数 (西田教行, 佐藤克也): プリオン病診療ガイドライン 2014. 厚生労働科学研究費補助金 (難治性疾患克服研究事業)、厚生労働科学研究費補助金 (難治性疾患克服研究事業), 2014

7 水澤英洋、その他多数(佐藤克也)：サーベイランスに基づくわが国のプリオン病の疫学像(1999-2013年データ)．厚生労働科学研究費補助金(難治性疾患克服研究事業)プリオン病のサーベイランスと感染予防に関する調査研究 平成25年度総括・分担研究報告書, pp.15-27, 2014

8 佐藤克也, 西田教行, 新 竜一郎: 異常型プリオンタンパク試験管内増幅法(RT-QUIC法)とバイオマーカーを用いたヒトプリオン病の髄液診断法の確立(前向き研究に向けて)．厚生労働科学研究費補助金(難治性疾患克服研究事業)プリオン病のサーベイランスと感染予防に関する調査研究 平成25年度総括・分担研究報告書, pp.34-37, 2014

9 原田雅史、その他多数(佐藤克也)：MRIにおけるCJD診断能の磁場強度による違いについて．厚生労働科学研究費補助金(難治性疾患克服研究事業)プリオン病のサーベイランスと感染予防に関する調査研究 平成25年度総括・分担研究報告書, pp.38-40, 2014

10 山田正仁、その他多数(佐藤克也)：MM2型孤発性Creutzfeldt-jakob病の臨床診断基準案の作成．厚生労働科学研究費補助金(難治性疾患克服研究事業)プリオン病のサーベイランスと感染予防に関する調査研究 平成25年度総括・分担研究報告書, pp.41-45, 2014

11 三條伸夫、その他多数(佐藤克也)：V180I変異遺伝性CJD患者脳の免疫化学的・神経病理学的検討．厚生労働科学研究費補助金(難治性疾患克服研究事業)プリオン病のサーベイランスと感染予防に関する調査研究 平成25年度総括・分担研究報告書, pp.46-54, 2014

12 新 竜一郎, 祖母井香織, 西田教行, 福田茂夫: 食品および原材料に応用可能な高感度プリオン検出技術の開発とBSEの感染病態・増殖機構の解明．厚生労働科学研究費補助金(食品の安全確保推進研究事業)食品を介する伝達性海綿状脳症のリスクと対策等に関する研究 平成25年度総括・分担研究報告書, pp.16-19, 2014

研究業績集計表

教室等名：205 微生物学

論文数一覧

	A-a	A-b	A-c	A-d	A-e	合計	SCI	B-a	B-b	B-c	B-d	B-e	合計	総計
2014	6	0	0	0	0	6	6	0	1	0	12	0	13	19

学会発表数一覧

	A-a	A-b		合計	B-a	B-b		合計	総計
		シンポジウム	学会			シンポジウム	学会		
2014	0	0	5	5	0	2	7	9	14

論文総数に係る教員生産係数一覧

	$\frac{\text{欧文論文総数}}{\text{論文総数}}$	教員生産係数 (欧文論文)	$\frac{\text{SCI掲載論文数}}{\text{欧文論文総数}}$	教員生産係数 (SCI掲載論文)
2014	0.316	1	1	1

Impact factor 値一覧

	Impact factor	教員当たり Impact factor	論文当たり Impact factor
2014	22.157	3.693	3.693